

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤沢マンション計画 新築工事	階数	地下1階 地上19階
建設地	神奈川県藤沢市鶴沼石上1丁目10番1.10番2.10番10	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	360人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2019年8月6日
敷地面積	1,689㎡	作成者	大末建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	647㎡	確認日	2019年8月8日
延床面積	8,448㎡	確認者	大末建設株式会社一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.3

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合 室内環境、サービス性能、資源・マテリアル、敷地外環境を基本に中程度の配慮がなされた設計である。		その他 特になし。
Q1 室内環境 住戸の昼光率2.0%以上確保、屋光制御、化学汚染物質、取入外気の方位において配慮された計画である。	Q2 サービス性能 広さ・景観、維持管理に配慮した設計、躯体材料の耐用年数、外壁仕上の補修必要間隔、主要内装仕上げの更新必要間隔において配慮がなされた設計である。	Q3 室外環境(敷地内) 概ね中程度の配慮がなされた設計である。
LR1 エネルギー 概ね中程度の配慮がなされた設計である。	LR2 資源・マテリアル 部材の再利用可能性向上への取組、フロン・ハロンの回避において配慮がなされた設計である。	LR3 敷地外環境 地球温暖化への配慮、廃棄物処理負荷抑制、光害制御において配慮がなされた設計である。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される